

## 令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(深谷小学校)

### 平均正答率

#### 1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷小	上回った	上回った	同等	上回った	上回った	上回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

#### 2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷小	5-A	6-A	7-C	5-C	5-A	6-B
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

#### 3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
深谷小		1	0		1	0
埼玉県		1	0		1	1

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		深谷小	埼玉県	深谷小	埼玉県	深谷小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	91.6	91.2	90.4	82.5	85.5	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	87.3	79.3	84.4	77.6	79.7	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	91.5	75.9	91.6	77.6	88.4	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	91.6	78.5	91.6	82.4	92.7	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	91.5	82.7	92.8	86.7	98.6	84.5
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	52.1	47.8	49.4	46.2	50.7	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	56.4	55.6	49.3	58.8	62.2	60.0
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	38.0	31.4	32.5	24.9	29.0	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	77.5	75.2	78.3	77.4	85.5	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	85.9	73.5	91.5	71.1	72.5	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	77.4	78.3	72.2	69.3	75.3	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	84.6	82.1	81.9	80.0	84.0	82.0
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	6.4	16.9	10.2	16.7	15.9	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	31.0	23.1	43.4	25.8	52.2	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	97.2	84.8	95.2	88.7	91.3	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	93.0	92.0	96.4	92.9	97.1	93.7
	・学級での生活は楽しい	94.4	94.8	95.2	92.5	92.7	91.6

## 【質問紙分析】

- ・「自分からはっきり挨拶をすることができる」の割合が県と比べて高いのは、「深小っ子150年の伝統」の1つである立ち止まり挨拶を実践しているからだと考えられる。
- ・「地域の歴史や自然に関心をもっている」の割合が県と比べて高いのは、生活科や総合的な学習の時間を軸に、系統的・横断的なふるさと教育に取り組んでいるからだと考えられる。
- ・「算数や国語の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた」の割合が県と比べて低いのは、教師のICT活用スキルが不十分であることが原因だと考えられる。そのため、授業中におけるタブレット活用の好事例を積極的に取り入れていく必要がある。

## 伸びが見られた学級・教科での取組

### 【学級】

- ・伸びが見られた学級では、児童が自分の考えを進んで発表したり、友達の考えをしっかり聞いたりするなどの学習規律を大切にするとともに、教師が一人一人のよさやがんばりを認め、ほめて伸ばす学級づくりを目指してきた結果だと考えられる。

### 【国語】

- ・伸びが見られた国語では、自分の考えが伝わるように文章にする書き方を工夫することができるようにするため、図表やグラフの特徴や優れている点などについて、他教科と関連して指導したり、漢字指導においては、書き取りの練習のみならず、文や文章の中で漢字を読むことや文脈の中での意味と結び付けていくことを指導したりしてきた結果だと考えられる。

### 【算数】

- ・伸びが見られた算数では、T.T（ティームティーチング）や少人数指導などの学習形態を工夫し、個に応じた指導の充実を図るとともに、タブレットを活用した練習問題の取組や単元終末での補充的・発展的なプリント問題の実施等による結果だと考えられる。

## 一人一人をより伸ばすための取組

- ・「深小スタイル」と「深小スタンダード」の実践を通して、日々の授業の充実を図り、児童の学びに向かう力や人と関わる力を育んでいく。
- ・授業中におけるタブレットの効果的な活用事例を学び、協働的な学びが起こりやすい授業づくりを推進していく。
- ・平均正答率の低い問題については、県が作成している「復習シート」を授業や家庭学習等で活用し、学習内容の定着を図っていく。
- ・チャレンジタイムで3年生以上が取り組んでいる「学力向上プロジェクト問題」において、一人一人の学習内容の定着度を見極め、できるようになるまで繰り返し取り組んでいく。